

ワイヤレスイヤホン
Wireless Earphone

PEA-317



取扱説明書



INDEX

このたびは **amadana** ワイヤレスイヤホンをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

1	構成部品
2～8	安全上のご注意
9	特長
9～10	Bluetooth 機能について
11～14	ご使用方法
15～17	Bluetooth 機能でワイヤレス接続する
17～18	ハンズフリー通話をする
19	Bluetooth 対応機器の音楽やワンセグの音声などを聴く
20	故障かな？と思ったら
21	仕様
22	アフターサービス／カスタマー登録のお勧め
23	ワイヤレスイヤホン保証書

商標について

Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社リアル・フリーはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

構成部品



ワイヤレスレシーバー
(RB-317)



充電分岐ケーブル



イヤホン (PE-317)



イヤチップ
(S/M/L)

※ご使用には別途 docomoFOMA 用 AC アダプターが必要となります

安全上のご注意 ー必ずお守りくださいー

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止（してはいいないこと）を示します。	 分解してはいけないことを示す記号です。
	 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。

ラベルに記載されている表示により、内蔵電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池(リチウムポリマー電池)

⚠ 危険

-  火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

機器の変形、故障や、内蔵電池の漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。

また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

-  火の中に投下しないでください。

内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

-  釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

-  分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

また、内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

-  濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

-  内蔵電池内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠ 警告

-  電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、本製品を入れないでください。

内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火させたり、本製品の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

-  強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

内蔵電池の漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

-  コネクタ端子やイヤホン端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因になります。

 医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

本器を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

 落下による変形や傷など外部からの衝撃により本器に異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。

内蔵電池の漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

 使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いまままでと異なるときは、直ちに次の処置を行ってください。

1. 充電ケーブルを抜く。
2. ワイヤレスレシーバーの電源を切る。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または内蔵電池の漏液の原因となります。

 航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本器の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

 心臓の弱い方は、音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本器の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意ください
電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

 内蔵電池が漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

安全上のご注意

—必ずお守りください—

⚠ 注意

 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

 磁気カードなどをワイヤレススレーバーに近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった場合は、ご購入店舗の窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

 イヤホン使用時は音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

 お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

 内蔵電池内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

 歩行中は音量を上げすぎないようにしてください。
音量を上げすぎると、外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道で、交通事故の原因となることがあります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

⚠ 警告

❌ 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、本器を使用しないでください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

❗ 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本器を持ち込まないでください。
- ・病棟内では、本器の電源を切ってください。
- ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本器の電源を切ってください。
- ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

❗ 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本器の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

❗ 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上のご注意

水をかけないでください。
ワイヤレスレーザーは防水仕様にはなっていません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

電池は消耗品です。

使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、内蔵電池の寿命の可能性があります。その場合は、お買い上げの販売店または本書 P23 の修理ご相談窓口にご連絡のうえ、ご相談ください。

安全上のご注意 —必ずお守りください—

充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。

初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

内蔵電池の使用時間は、使用環境や電池の劣化度により異なります。

内蔵電池は、電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

運転中は、イヤホンを使用すると罰則の対象となります。

日本国内で使用してください。

ワイヤレスレシーバーは日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

長時間(1日以上)の充電はしないでください。

充電しながら、ワイヤレス接続はできません。ワイヤレスレシーバーを使用するときは、充電しないでください。

低温下では使用時間が短くなります。低温下での使用では、電池の性能を十分発揮できません。できるだけ常温(20℃)付近で使用してください。

騒音のひどいところや強風下での使用は避けてください。

耳に刺激を与えすぎないように、適度な音量でご使用ください。イヤホン使用時は、周囲の人に迷惑にならないようご注意ください。

イヤホンのコードを強く引っ張らないでください。

またコードは、ワイヤレスレシーバーなどに巻き付けたりしないでください。

ワイヤレスレシーバーのクリップに無理な力を加えないでください。

本製品が汚れたら、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で汚れを拭き取ってください。

濡れたぞうきんなどで拭くと、故障の原因となります。

また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり変色したりすることがありますので、使用しないでください。



Li-ion00

環境保全のため、不要になったワイヤレスレシーバーはお買い上げの販売店にお持ちいただくか、本書 P23 のお客様サポートセンターにお問い合わせください。

Bluetooth 機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書 P23 のお客様サポートセンターまでお問い合わせください。

■ 周波数帯について

端末の Bluetooth 機能が使用する周波数帯は次のとおりです。



- 2.4 : 2400MHz 帯を使用する無線設備を表します。
- FH : 変調方式が FH-SS 方式であることを示します。
- 1 : 想定される干渉距離が 10m 以下であることを示します。
-  : 2400MHz ~ 2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■ 電気通信端末機器認定表示について

ワイヤレスレーザーは電気通信事業法に基づく専用通信回線設備等端末として、技術基準適合認定を受けております。

以下のことを行うと法律により罰せられることがあります。

- ・ワイヤレスレーザーを分解・改造すること
- ・ワイヤレスレーザーのクリップ面に貼られている認定表示ラベルを剥がすこと

- すべての Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

特長

- Bluetooth 機能を搭載した Bluetooth 対応機器とワイヤレス接続をして、ハンズフリー通話をしたり、音楽やワンセグの音声などを聴くことができます。
- ワイヤレスレシーバーで、リダイヤルやボイスダイヤルの発信、着信を受けるなどの操作ができます。
また音楽の再生や停止などの操作ができます。

Bluetooth機能について

- Bluetooth 標準規格 Ver. 1.1 以上準拠の携帯電話とワイヤレス接続することができます。
ハンズフリー通話をするためには、Bluetooth 対応機器が Hands-Free Profile または Headset Profile に対応していることが必要です。両方の Profile に対応している場合は、Hands-Free Profile で接続することを推奨します。また Bluetooth 対応機器の音楽を聴くためには、端末が Advanced Audio Distribution Profile および Audio/Video Remote Control Profile に対応していることが必要です。
- Bluetooth 無線技術とは Bluetooth 対応機器どうしをワイヤレスで接続する技術です。機器どうしを向き合わせる必要がなく、機器をかばんやポケットに入れたままでも接続できます。
ただしワイヤレスレシーバーと Bluetooth 対応機器の間に身体を挟むと雑音の原因になることがあります。

Bluetooth機能について

良好なワイヤレス接続を行うために

- Bluetooth 対応機器とは、見通し距離約 10m 以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。

ワイヤレスレーザーと Bluetooth 対応機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。

- 他の機器（電気製品／AV 機器／OA 機器など）からなるべく離して接続してください（電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください）。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHF や衛星放送の特定チャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。

- 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、ワイヤレスレーザーの場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。

- 無線 LAN と電波干渉について

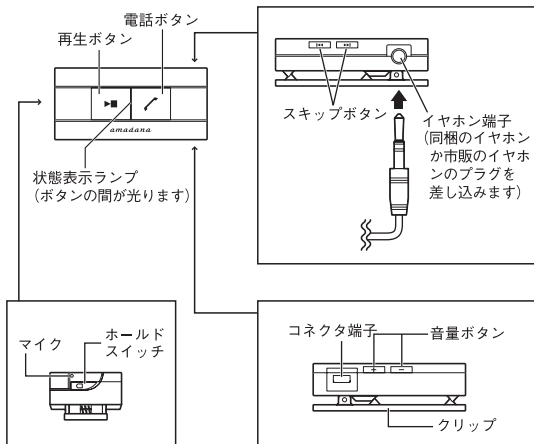
Bluetooth 機器と無線 LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、無線 LAN を搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- ・ Bluetooth 対応機器やワイヤレス接続するワイヤレスレーザーは、10m 以上離してください。
- ・ 10m 以内で使用する場合は、無線 LAN の電源を切ってください。

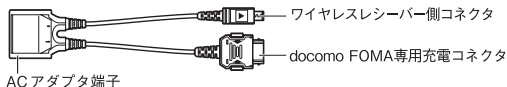
ご使用方法

各部の名称

ワイヤレスレシーバー



充電分岐ケーブル



※プラグ、コネクタは確実に差し込んでください。

※ご使用には別途 docomoFOMA 用 AC アダプターが必要となります

■ ホールドスイッチについて

ホールドON：ワイヤレスレシーバーの
操作ができなくなります。※



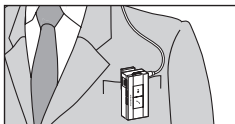
ホールドOFF：ワイヤレスレシーバーの
操作ができるようになります。



※：着信、応答保留、通話のときは、電話ボタンの操作と音量調節ができます。

■ ワイヤレスレシーバーは、同梱のイヤホンまたは市販のイヤホンを接続して使用します。

ワイヤレスレシーバーのクリップを使用すると、胸ポケットなどに留めておくことができます。



イヤホン

装着のしかた

図のように装着してください。イヤチップがうまく装着されていないと低音が聞こえにくいことがあります。よい音質でお使いいただくために、耳の奥まで押し込むなど、イヤチップの耳の収まりの良い位置に調節してください。

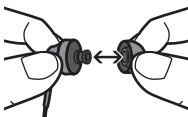


裏側

“L” を左耳に
“R” を右耳に
装着してください

イヤチップのサイズ、交換方法について

この商品には S,M,L の3サイズのイヤチップが付属されています。お買い上げ時には M サイズが装着されていますが、ご自分の耳の大きさに合わせてサイズを選び、ご使用ください。



接続例

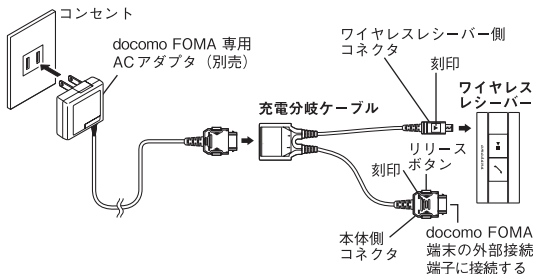


ご使用方法

電源を入れる／切る

- ホールドスイッチを OFF にして操作してください。
- 電源を入れるときは、[再生ボタン]を押します。電源が入ると、状態表示ランプが約2秒青色点灯してイヤホンから「ピー」と音が鳴り、接続待ち状態となります。
※[再生ボタン]を3秒以上押すと、ワイヤレス接続の検索待ち状態となりますのでご注意ください。
- 電源が入っているときに、[再生ボタン]を2秒以上押すと、イヤホンから「ピー」と音が鳴り状態表示ランプが約2秒赤色点灯して電源が切れます。
※電源を入れた状態で放置すると、内蔵電池が消耗しますので、ご使用にならないときは電源を切ってください。

充電のしかた



- ACアダプタ、充電分岐ケーブルと接続して充電します。
充電分岐ケーブルを docomo FOMA 端末に接続して、同時に充電することもできます。
- 電池残量がほとんどなくなったときは、イヤホンからアラームが鳴ります。また電源が入っているときにワイヤレスレシーバーのいずれかのボタンを押すと、状態表示ランプが電池残量の目安を約5秒表示します。電池残量がほとんどなくなったら充電してください。
電池残量の目安は以下のようになります。
 - ・ 十分残っているとき : 青色点灯
 - ・ 少なくなっているとき : 赤色点灯
 - ・ ほとんど残っていないとき : 赤色点滅

※ワイヤレスレシーバーの電源を入れていても、充電を開始すると電源が切れます。

- ① 充電分岐ケーブルのワイヤレスレシーバー側コネクタの刻印面を上にして、ワイヤレスレシーバーのコネクタ端子へ水平に差し込みます。
docomo FOMA 端末も同時に充電する場合は、充電分岐ケーブルの本体側コネクタを docomo FOMA 端末に差し込みます。本体側コネクタの差し込み方法は、AC アダプタのコネクタの差し込み方法と同様ですので、docomo FOMA 端末の取扱説明書をご参照ください。
 - ② AC アダプタのコネクタの刻印面と充電分岐ケーブルの AC アダプタ端子の刻印面をあわせて、水平に差し込みます。
 - ③ AC アダプタの電源プラグを起こし、家庭用などの AC100V のコンセントに差し込みます。
- 充電を開始すると、状態表示ランプが赤色点灯し、充電が完了すると、状態表示ランプが消灯します。
 - docomo FOMA 端末の電池残量がほとんど残っていないとき、充電分岐ケーブルに docomo FOMA 端末を接続して充電を開始した後にワイヤレスレシーバーを接続した場合、ワイヤレスレシーバーの充電開始までしばらくかかることがあります。
 - 充電時間の目安は、約 150 分です。
※内蔵電池が空の状態から充電したときの時間です。
 - 本体側コネクタを抜くときは、コネクタの両側にあるリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。また、ワイヤレスレシーバー側コネクタは、水平に抜いてください。無理に外そうとすると、故障の原因になります。

内蔵電池の使用時間の目安

- 内蔵電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります。
- ワイヤレスレシーバーの連続使用時間の目安は以下のようになります。
 - ・連続通話時間 : 約 5.5 時間
 - ・連続音楽再生時間 : 約 5.5 時間
 - ・連続待受時間 : 約 80 時間

※連続音楽再生時間は、Bluetooth 標準規格 Ver2.0+EDR 準拠の端末と接続している場合の目安です。

※連続待受時間は、ワイヤレス接続を「ハンズフリー」または「ヘッドセット」で行っている状態での目安です。「オーディオ」でワイヤレス接続をした場合は、待受時間は短くなることがあります。

Bluetooth機能でワイヤレス接続する

- ワイヤレスレシーバーと Bluetooth 対応機器を Bluetooth 機能でワイヤレス接続します。
- ワイヤレスレシーバーと Bluetooth 対応機器を Bluetooth 機能で接続するときは、最初の 1 回のみ Bluetooth 対応機器にワイヤレスレシーバーを登録する必要があります。
- ワイヤレスレシーバーは、複数の Bluetooth 対応機器と同時にワイヤレス接続して使用しないでください。

ワイヤレスレシーバーを Bluetooth 対応機器に登録する

- ① ワイヤレスレシーバーの電源を切った状態で、[再生ボタン] を 3 秒以上押して、検索待ち状態（状態表示ランプが約 1 秒間隔で赤色と青色に交互点滅）にします。
 - ② ワイヤレスレシーバーが検索待ち状態のときに、Bluetooth 対応機器でワイヤレスユニットを検索し登録します。
- ※Bluetooth 対応機器の機器検索から登録までの操作は、60 秒以内で行ってください。60 秒を超えてしまった場合は、一旦ワイヤレスレシーバーの電源を切り、再度 [再生ボタン] を 3 秒以上押して、Bluetooth 対応機器での登録操作を行ってください。
- ※登録のしかたについては、Bluetooth 対応機器の取扱説明書をお読みください。
- ※ワイヤレスレシーバーの Bluetooth パスキーは「0000」です。
- ※Bluetooth 対応機器に登録するときに、複数の機器を検索した場合は、ワイヤレスレシーバーの機器名称「amadana RB317」を選択してください。Bluetooth 対応機器によっては、機器名称がすべて表示されない場合があります。

ワイヤレスレシーバーと Bluetooth 対応機器をワイヤレス接続する

- あらかじめワイヤレスレシーバーを Bluetooth 対応機器に登録しておくことが必要です。
- ワイヤレスレシーバーでハンズフリー通話をするときは、Bluetooth 対応機器と「ハンズフリー」または「ヘッドセット」でワイヤレス接続してください。またワイヤレスレシーバーで Bluetooth 対応機器の音楽やワンセグの音声などを聴くときは、Bluetooth 対応機器と「オーディオ」でワイヤレス接続してください。音楽を聴いているときにハンズフリーで電話を受けるなど、ハンズフリー通話と音楽鑑賞の両方をするためには、ワイヤレスレシーバーと Bluetooth 対応機器を「ハンズフリー」または「ヘッドセット」、「オーディオ」の両方でワイヤレス接続しておくことが必要です。
- ワイヤレス接続が切れた状態が約 10 分続いたときは、自動的にワイヤレスレシーバーの電源が切れます。

「ハンズフリー」でワイヤレス接続する

■ ワイヤレスレシーバーと Bluetooth 対応機器を「ハンズフリー」でワイヤレス接続します。

① ワイヤレスレシーバーの電源を入れて、接続待ち状態にします。

※ワイヤレスレシーバーが最後に Bluetooth 対応機器と「ハンズフリー」で接続されていた場合、接続待ち状態になってから約 5 秒接続相手を探し、接続可能な Bluetooth 対応機器があるときは、自動的に「ハンズフリー」でワイヤレス接続ができます。接続可能な Bluetooth 対応機器は、ワイヤレスレシーバーが最後に登録された Bluetooth 対応機器となります。このとき ② の操作は必要ありません。

※接続待ち状態になってからの約 5 秒で接続相手が見つからない場合は、約 1 分毎に接続相手を探し、相手が見つからない状態が約 10 分続いたときは、自動的に電源が切れます。

②Bluetooth 対応機器を操作して、ワイヤレスレシーバーとワイヤレス接続（ハンズフリー）します。ワイヤレス接続をすると、イヤホンから「ピッピッ」と音が鳴ります。

※Bluetooth 対応機器の操作のしかたは、Bluetooth 対応機器の取扱説明書をお読みください。

「オーディオ」でワイヤレス接続する

■ ワイヤレスレシーバーと Bluetooth 対応機器を「オーディオ」でワイヤレス接続します。

① ワイヤレスレシーバーの電源を入れて、接続待ち状態にします。

※接続待ち状態になっているときに[再生ボタン]を押すと、接続可能な Bluetooth 対応機器を探し、自動的に「オーディオ」でワイヤレス接続します。接続可能な Bluetooth 対応機器は、ワイヤレスレシーバーが最後に登録された Bluetooth 対応機器となります。このとき ② の操作は必要ありません。

※接続待ち状態になってから、約 10 分ワイヤレス接続をしなかったときは、自動的に電源が切れます。

②Bluetooth 対応機器を操作して、ワイヤレスレシーバーとワイヤレス接続（オーディオ）接続します。

※Bluetooth 対応機器の操作のしかたは、Bluetooth 対応機器の取扱説明書をお読みください。

「ヘッドセット」でワイヤレス接続する

■ ワイヤレスレシーバーと Bluetooth 対応機器を「ヘッドセット」でワイヤレス接続します。

① ワイヤレスレシーバーの電源を入れて、接続待ち状態にします。

※ワイヤレスレシーバーが最後に Bluetooth 対応機器と「ヘッドセット」

Bluetooth機能でワイヤレス接続する

で接続された場合、接続待ち状態になってから約 5 秒接続相手を探し、接続可能な Bluetooth 対応機器があるときは、自動的に「ヘッドセット」でワイヤレス接続ができます。接続可能な Bluetooth 対応機器は、ワイヤレスレシーバーが最後に登録された Bluetooth 対応機器となります。このとき ② の操作は必要ありません。

※接続待ち状態になってからの約 5 秒で接続相手が見つからない場合は、約 1 分毎に接続相手を探し、相手が見つからない状態が約 10 分続いたときは、自動的に電源が切れます。

②Bluetooth 対応機器を操作して、ワイヤレスレシーバーとワイヤレス接続（ヘッドセット接続）します。ワイヤレス接続をすると、イヤホンから「ピッピッ」と音が鳴ります。

※Bluetooth 対応機器の操作のしかたは、Bluetooth 対応機器の取扱説明書をお読みください。

ハンズフリー通話をする

- ハンズフリー通話をするときは、あらかじめワイヤレスレシーバーと Bluetooth 対応機器をワイヤレス接続（ハンズフリー接続またはヘッドセット接続）してください。
- ハンズフリー通話をしているときに、Bluetooth 対応機器を操作して、Bluetooth 対応機器での通話に切り替えることができます。操作のしかたは、Bluetooth 対応機器の取扱説明書をお読みください。また Bluetooth 対応機器で通話をしているときにワイヤレスレシーバーと Bluetooth 対応機器がワイヤレス接続されていると、ワイヤレスレシーバーの「電話ボタン」を 1 秒以上押してハンズフリー通話に切り替えることができます。
- ホールドスイッチを OFF にして操作してください。

電話をかける

- Bluetooth 対応機器のボイスダイヤル呼出やリダイヤルで電話をかけることができます。リダイヤルができるのは、最後にかけた電話番号のみです。「ヘッドセット接続」をしている場合、リダイヤルで電話をかけることはできません。
 - ボイスダイヤル呼出で電話をかける場合は、Bluetooth 対応機器でも設定が必要です。設定のしかたについては、Bluetooth 対応機器の取扱説明書をお読みください。
- ①【ボイスダイヤル呼出で自動的に発信する】
Bluetooth 対応機器の設定を、ボイスダイヤルで呼び出した電話番号に自動的に発信するようにします。
「電話ボタン」を押してボイスダイヤルで電話番号を呼び出すと、自動的に発信します。

ハンズフリー通話をする

【ボイスダイヤル呼出で発信する(ヘッドセット接続の場合のみ)】

[電話ボタン]を押してボイスダイヤルで電話番号を呼び出し、[電話ボタン]を押すと発信します。

【リダイヤル発信する(ハンズフリー接続の場合のみ)】

[電話ボタン]を1秒以上押すと、リダイヤル発信します。

②電話がかかり、相手につながったら通話ができます。

※Bluetooth 対応機器にオールロックやセルフモードなどを発信を規制する設定をしている場合は、発信できません。

※Bluetooth 対応機器にシークレットモードで登録された電話番号はボイスダイヤル呼出で発信できません。

電話を受ける

①電話がかかってくると、イヤホンから着信音が鳴ります。

②[電話ボタン]を押すと、通話ができます。

■着信音が鳴っているときに[電話ボタン]を1秒以上押すと着信拒否になり、電話が切れます。

[ヘッドセット接続]をしている場合、着信拒否をすることはできません。

■音楽を聴いているときに電話がかかってきた場合は、自動的に音楽再生を停止し、着信音が鳴ります。

通話を終了すると、再び音楽を再生します。

※ご使用のBluetooth 対応機器により、通話を終了しただけでは音楽が再生されない場合があります。

通話を終了する

■[電話ボタン]を押すと、通話が終了します。

■相手が先に通話を終了した場合は、自動的に通話が終了します(自動終話機能)。

切替通話をする

■キャッチホンなどの切替通話サービスをご利用の方のみご使用に出来ます。

■通話中に電話がかかってきたときに、[電話ボタン]を押すと新しい相手と通話ができます。このとき、最初の通話は保留状態となります。また[電話ボタン]を押して、通話の相手を切り替えることができます。

■切替通話サービスの操作のしかたは、Bluetooth 対応機器の取扱説明書をお読みください。

音量を調節する

■音量を8段階で調節することができます。
(お買い上げ時は、レベル5に設定されています。)

■音量を上げるときは[+]、下げるときは[-]を押します。
[+]または[-]を押し続けると、音量の変更を続けてできます。

Bluetooth対応機器の音楽やワンセグの音声などを聴く

- Bluetooth 対応機器の音楽やワンセグの音声などを聴くときは、あらかじめワイヤレスレシーバーと Bluetooth 対応機器をワイヤレス接続（オーディオ接続）してください。
- ホールドスイッチを OFF にして操作してください。

音楽やワンセグの音声などを聴く

① Bluetooth 対応機器を操作して、音楽やワンセグの音声などを Bluetooth 機器に出力します。

※Bluetooth 対応機器での操作のしかたは Bluetooth 対応機器の取扱説明書をお読みください。

② イヤホンから音楽やワンセグの音声などが聴こえます。

■ 音楽再生中の操作

・一時停止

[再生ボタン]を押します。

一時停止中に押すと、再生になります。

・とび越し(スキップ)

次の曲に進む：[▶▶]を押します。

曲の頭に戻る：[◀◀]を押します。

[◀◀]を2回押すと、前の曲に戻ります。

※ご使用の Bluetooth 対応機器により、動作が異なる場合がありますので、Bluetooth 対応機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

■ ワンセグ視聴中の動作

・チャンネル選局

次のチャンネルを選局：[▶▶]を押します。

前のチャンネルを選局：[◀◀]を押します。

■ ビデオ再生中の操作

早送り：[▶▶]を押します。

早戻し：[◀◀]を押します。

※ご使用の Bluetooth 対応機器により、早送り／早戻しができない場合があります。

■ 操作のしかたについては、Bluetooth 対応機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

音量を調節する

■ 音量を15段階で調節することができます。

(お買い上げ時は、レベル8に設定されています。)

■ 音量を上げるときは[+]、下げるときは[-]を押します。

[+]または[-]を押し続けると、音量の変更を続けてできます。

故障かな?と思ったら

- 下記の点検をしても直らないときは、本書 P23 の修理ご相談窓口までお問い合わせください。

電源が入らない

- 電池切れになっていませんか？
→充電してください。

充電ができない／充電表示をしない

- AC アダプタの電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？
→もう一度確実に差し込んでください。
- 充電分岐ケーブルのコネクタがワイヤレスシーバーに確実に差し込まれていますか？
また AC アダプタのコネクタが充電分岐ケーブルのコネクタ端子に確実に差し込まれていますか？
→もう一度確実に差し込んでください。

充電時間が短い／充電時間が長い

- 内蔵電池の残量がある場合は、充電時間が短くなります。
- 周囲温度が 0℃～45℃以内ですか？
→常温でご使用ください。

Bluetooth 対応機器から接続できない

- ワイヤレスシーバーと Bluetooth 対応機器が離れすぎていませんか？
→ワイヤレスシーバーと Bluetooth 対応機器を近づけてください。

Bluetooth 対応機器で機器登録ができない

- ワイヤレスシーバーと Bluetooth 対応機器が離れすぎていませんか？
→ワイヤレスシーバーと Bluetooth 対応機器を近づけてください。
- Bluetooth 対応機器の機器検索から登録までの操作を 60 秒以内で行っていますか？
→機器検索から登録までの操作は 60 秒以内で行ってください。

リモコンで操作ができない

- ワイヤレスシーバーが Bluetooth 対応機器に機器登録されていて、接続されていますか？
→Bluetooth 対応機器に機器登録をして、接続してください。
- ワイヤレスシーバーと Bluetooth 対応機器が離れすぎていませんか？
→ワイヤレスシーバーと Bluetooth 対応機器を近づけてください。
- ワイヤレスシーバーのホールドスイッチが ON になっていませんか？
→ホールドスイッチを OFF にしてください。

音声に雑音はいる

- ワイヤレスシーバーと Bluetooth 対応機器の間に障害物はありませんか？
→障害物がない状態にしてください。
- ワイヤレスシーバーと Bluetooth 対応機器が離れすぎていませんか？
→ワイヤレスシーバーと Bluetooth 対応機器を近づけてください。
- 近くに無線 LAN や無線機などがありますか？
→ワイヤレスシーバーおよび Bluetooth 対応機器を無線 LAN や無線機などから 10m 以上離してください。

仕様

ワイヤレスレシーバー RB-317

電 圧	3.7V
使用電池	Li-ion（リチウムイオン）電池 （リチウムポリマー電池）
電池容量	145mAh
充電時間	約 150 分
質 量	約 17g
Bluetooth 機能	バージョン Bluetooth 標準規格 Ver.2.0+EDR
	出力 最大 +4dBm（Power Class2）
	通信距離※1 見通し 10m（最大）
	対応プロファイル ※2 Hands-Free Profile Headset Profile Advanced Audio Distribution Profile （SCMS-T 対応） Audio/Video Remote Control Profile
	機器名称 amadana RB317
	Bluetooth パスキー※3 0000（固定）

※1 周囲の電波状況、障害物、設置環境などにより異なります。

※2 プロファイルは、Bluetooth 機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

※3 Bluetooth 機器を他人に許可なく使用されないためのパスワードです。

定格／仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

イヤホン PE-317

型 式	ダイナミック型
ドライバー	Φ8.5mm
出力音厚レベル	97dB/1mW at 1kHz
再生周波数帯域	10～24,000Hz
質 量	約 8g

アフターサービス

1 保証書の内容のご確認と保存のお願い
必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3 修理をお申しつけされるとき

《保証期間中》

製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

《保証期間を経過しているとき》

修理すれば使用できる商品は、ご要望により有料修理いたします。

4 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

(本機の場合、持ち込み修理となります)

5 上記の内容についての詳細、贈答、転居の場合など、その他、製品に関するお問い合わせ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店または、弊社のサポートセンターまでお気軽にご相談ください。

■ お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対にしていただきません。

「amadana」カスタマー登録のお勧め

「amadana」商品をお買い上げいただき、有難うございます。「amadana」を愛着を持って末永くお使いいただく為に、「amadana」カスタマー登録をお勧めしています。本カスタマー登録の特典や登録方法は下記の通りです。

ご登録いただいたお客様への特典

※ご登録いただいたお客様に対してのみの特典です。

※特典の内容は予告なく変更する場合がございます。

※ご登録の期限は、商品購入後1年以内です。

※このサービスは日本国内のみ有効です。

特典

最新の商品情報、キャンペーン情報等を定期的にご案内いたします。

(情報提供を希望されたお客様が対象となります。)

登録方法

下記のカスタマーご登録、詳細は下記Webサイトにアクセスして下さい。携帯電話からのご登録できます。

※携帯電話からご使用の場合、一部機種はご使用になれない場合がございます。

※このカスタマー登録対象商品は「amadana」ブランド商品のみとさせていただきます。

<http://www.amadana.com/customer>

登録する時に必要なもの

本紙に記載されている「登録コード」と本体に記載されている「製造番号」が必要です。

登録コード P992E10

※アルファベットのI/L/Oは
使用していません

製造番号 ワイヤレスレーザーのラベルに記載されている製造番号



登録にあたっては、上記Webサイトに記載の注意事項をよくお読みください。

ワイヤレスイヤホン保証書

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。

製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型 名		PEA-317		修理メモ
■お客様	お名前		TEL	
	ご住所 〒			
■お買い上げ日		■販売店 住所		
年 月 日				
保証期間 お買い上げ日より 本体1年		TEL		

■印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

1. 転居、ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様サポートセンターにお申しつけください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

(イ)使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。(ロ)お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。(ニ)一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車輛、船舶へのとう載)に使用された場合の故障および損傷。(ホ)本書のご提示がない場合。(ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。(ト)消耗部品の交換。(イヤホン部のイヤチップ・本体コードとワイヤレスレシーバーの電池は消耗部品となります)

3. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社のサポートセンターにお問い合わせください。

■保証期間経過後の修理・補修用性能部品の保有期間について詳しくは、アフターサービスについての項をご覧ください。

株式会社 リアル・フリート

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67

コスモス青山 B1F

tel 03-5774-0947

修理に関するご相談

(株)リアル・フリート 修理ご相談窓口

ナビダイヤル

全国共通番号

 0570-077-773

受付時間 10:00~19:00

月～金(土・日祝祭日は休み)

■ファクシミリでのお問い合わせ

Fax 0570-022-227

消耗品や部品ご購入などのご相談

(株)リアル・フリート お客様サポートセンター

フリーダイヤル

 0120-161914

受付時間 10:00~19:00

月～金(土・日祝祭日は休み)

携帯電話・PHSの方はこちらへ

Tel 03-5774-0947

■ファクシミリでのお問い合わせ

Fax 03-5467-0431

製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。